

# 感染症予防へ

## 岡山大助教派遣

### AMDA要請受け

岡山大は二十二日、中国・四川大地震による被災地の感染症対策として、同大大学院の



汪達紘助教(四八)写真Ⅱを現地に派

遣した。二十三日にも四川省成都入りする。

上海出身の汪助教は予防医学が専門。国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市櫓

津)の要請を受けて派遣が決まった。

四川省中医薬科学院で下痢や肺炎などの感染症予防に関する助言をしたり、被災者の心のケアのために必要な情報を収集。滞在中のAMDA調整員の通訳も務める。期間は三十日までの予定。

来日中の一九九六年、雲南省大地震の際にも現地で活動した汪助教は「自分の持つノウハウを他の医療関係者に伝えたい」と話した。(河内慎太郎)